

国際ロータリー会長：バリー・ラシン

「インスピレーションになろう」

第2560地区ガバナー：川瀬 康裕

「自らのストーリーを作りましょう」

会 長：高橋研一

「将来みんなのためになること

これからのロータリーのために

力を込めて課題にチャレンジしよう！」

幹 事：松山浩仁

S A A：外山裕一

三条北ロータリークラブ週報

例会日2018. 12. 4 累計No.1526 当年No.20

例会日：火曜日 12：30～13：30

例会場：三条ロイヤルホテルTel34-8111

事務局：三条市本町3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX0256-35-7488

HP：http://www.sanjo-nrc.org

本日の行事：

「ガバナー公式訪問」

- ◆本日の出席：63名中38名
- ◆先々週の出席率：63名中44名 69.84%
(前年同期 83.08%)
- ◆本日のゲスト
第2560地区 第四分区ガバナー補佐
久住 勲夫 様
第2560地区 地区幹事 関川 博 様
- ◆本日のオブザーバー：米山奨学生
メディナ コントララス, ダニエル君
- ◆本日の記帳受付(敬称略)
三条 RC 中村和彦、山田富義、加藤紋次郎
三条南 RC 佐々木常行、星野健司、平松修之
池田亜津子、長谷美津明、渡辺俊明
三条東 RC 佐藤公信、小出和子
吉田 RC 小林四呂

* 本日の配布書類等

- ・週報No.1525
- ・現況報告書
- ・ロータリーの友12月号

会長挨拶：高橋研一会長

皆さんこんにちは。本日の行事「ガバナー公式訪問」は各クラブがその所属しているRIの役員と公式に接触する年一回の大切な機会です。まず、会長、幹事、会長エレクトと幹事エレクトとの懇談が行われ



れました。ガバナー補佐久住勲夫様と地区幹事関川博様に当クラブの実情をご説明し、問題点を提起した上で率直に討議を行いました。特に今年のテーマ「増強活動の実施及び内部拡大」を重点に置きました。この後、クラブ協議会が開かれます。ここで各委員会の今年の活動方針を報告していただき、ガバナー補佐久住勲夫様の指導を受けてください。質問に関しても同様です。

さて、話は変わりますが、先週の日曜日12月2日に妻にとっても喜んでもらえた話をさせていただきます。餞心亭おゝ乃で開催された『お洒落なX'mas Dinner Show オペラ&セレブフルコース&オーガニックワイン』での話です。料理はあの有名な、現在銀座4丁目にあるレストラン アノレーブのディレクター エグゼクティブシェフの山岸一茂さんの食前酒や、地元の食材を使ったフルコースを夫婦共にとても満喫できました。その後、Dinner Showはフェリーチェのオペラデュオの「椿姫」で始まり、最後のアンコール曲は子供3人による「きよしこの夜」でDinner Showは終わりました。終わった後、私と妻はとても心が満たされ、自分へのご褒美として心より感謝したことをご報告させていただきます、終わりとさせていただきます。



米山奨学金贈与

メディナ コントララス,ダニエル君

幹事報告：松山浩仁 幹事

- ・地区事務所より 「2019年度 短期交換学生募集要項」が届いています。
派遣学生は2019年8月初旬出発。申し込み締め切りは12月15日です。
- ・比国育英会バギオ基金より
「2017年度事業報告書の送付と基金へのご寄付のお願い」
- ・地区ローターアクトクラブより
「第49回地区大会 仮登録の案内」
日時：平成31年3月9日(土)12:00～ 場所：上越市 やすね
- ・三条ロータリークラブより「事務所移転のお知らせ」
12月28日より三条信用金庫本店内の事務所に移転となり、1月からの記帳受付場所も、
三条信用金庫本店内の事務所になります。お間違えの無いようお願いいたします。
- ・三条市PTA連合会より
「第36回ふるさと絵画コンクールの御礼」



委員会報告

職業奉仕委員会 羽賀 一真 委員長

先週お配りいたしました週報に、手違いがございましてご連絡いたします。移動例会の際に見学いたしました柏崎刈羽原子力発電所で撮影された写真の中に撮影禁止区域が入っており、東京電力からご指摘とお詫びがございました。東京電力見学週報(累計 No. 1524)を破棄していただきたいということでございます。差替え版として、東京電力の社員さんが撮影してくださいました写真を追加掲載いたしまして、ホームページにアップしておりますし、本日受付にて数部ご用意いたしております。制御室の写真等も入っており、差替え版の方が見ごたえがあります。皆様大変ご迷惑をお掛け致しましたということで、東京電力様からお詫びをいただいております。



雑誌委員会 石川 友意 委員長

12月のロータリーの友が皆様方のお手元にあるかと思いますが、ちょっとしたポイントをお話しさせていただきたいと思っております。横書きの方ですが22ページ公益財団法人ロータリー日本財団の29年度事業報告が載っていますので見ていただきたいと思っております。それから縦書き4ページ「新しい人生と寿命を延ばす方法」面白い内容ですので是非ご覧いただきたいと思っております。縦書きの17ページ「妻たちの女子会」うちのクラブも奥様方の出席が最近少ないのですが、奥様方の会があると良いのかなと思ってこちらも見させていただきたいと思っております。もう1点縦書き27ページ、「ワンコインがん検診の普及を目指して」最上ロータリークラブさんがワンコインで20代から30代の若者を対象とした、ワンコインでのがん検診を始めましたということが載っています。一応この辺が、12月号のポイントだと思います。どうかお読みください。よろしく申し上げます。



ロータリー財団ボックス：4日現在累計145,000円

地区大会記念ゴルフ大会参加者一同 団体4位 賞金の一部を協力します。
高橋 研一君 久々に協力します。今後も頑張ってください。
* ガバナー公式訪問を記念して、BOXを回し、皆さんにご協力いただきました。



米山奨学ボックス：4日現在累計207,000円

地区大会記念ゴルフ大会参加者一同 団体4位 賞金の一部を協力します。
* ガバナー公式訪問を記念して、BOXを回し、皆さんにご協力いただきました。



スマイルボックス：4日現在累計349,000円



第四分区ガバナー補佐 久住 勲夫 様(分水 RC) 地区幹事 関川 清 様(三条 RC)
お二人からご協力いただきました。

地区大会記念ゴルフ大会参加者一同 団体4位 賞金の一部を協力します。

石川 友意君 久住ガバナー補佐、関川地区幹事、本日はご指導よろしくお願ひ申し上げます。

落合 益夫君 //

佐藤 義英君 //

外山 晴一君 //

米山 忠俊君 // 川瀬康裕ガバナーの一日も早いご快復をお祈りしています。

斎藤 正君 久住ガバナー補佐、関川地区幹事、お二人の公式訪問に感謝して。

佐藤 弘志君 久住ガバナー補佐、関川地区幹事、本日はご苦労様です。

高橋 彰雄君 //

大野 新吉君 ガバナー公式訪問を記念して。ご指導よろしくお願ひします。

今井 克義君 公式訪問を祝して。

渋岡 茂君 公式訪問記念!!

星野 義男君 ガバナー公式訪問を歓迎します。よろしくお願ひ申し上げます。

羽賀 一真君 本日のガバナー公式訪問、よろしくお願ひします。

吉田 文彦君 ガバナー公式訪問に感謝します。

外山 裕一君 BOXに協力。

田中耕太郎君 //

今日の行事：「ガバナー公式訪問」

RI 第2560地区 第四分区ガバナー補佐 久住 勲夫 様(分水 RC)



皆さんこんにちは。分水ロータリークラブの久住勲夫でございます。先週、今日の公式訪問の事前指導ということで、今日配布の週報の3ページ目にどうい
うお話をしたか載ってますが、その中で(2)と(3)が大事なことでしたので、宜
しくお願ひいたします。川瀬ガバナーが大分良くなったということで、見えら
れるのかなと思っていましたが、やはり“私に”ということで、私の方でさせ
ていただきます。その代わり、RI バリー・ラシン会長のビデオと川瀬ガバナー

の就任時のご自分の一年間を何をどうゆう風にやりたいかを話している映像がありますので、それ
を見ていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

RI 第2560地区 地区幹事 関川 博 様(三条 RC)



皆さんこんにちは。地区幹
事の関川でございます。本
来であれば川瀬康裕ガバ
ナーが登壇してご指導される
処であります。その代理
として久住さんには大変ご

苦労をかけております。そして本日、中條パ
ストガバナーがこちらに居られないというのが非
常に残念でなりません。ご冥福をお祈り申し
上げます。

51クラブ回って参りました。川瀬ガバナーの
代行とは言いませんが、ガバナー補佐と共にほ
ぼ全てのクラブ、行けないところは代理にお願
ひして回って参りまして、その中で川瀬ガバナ

ーのご紹介を申し上げておりました。認知症の
予防医学会で秀でておられるという事はご存知
だと思いますが、分かりやすく言うと認知症分
野のドクターのテキストを作っておられ、勉強
会をしたり、そういった認知症の医学界ではか
なりトップクラスのドクターです。今日どうし
ても川瀬ガバナーの代わりに申し上げたいこと
がございます。実は川瀬ガバナーの肝いりで、
医師という立場もあり「人道的奉仕をしたい。
その中で認知症はだめかな？」と言われました。
「いいじゃないですか。認知症ドクターが認知
症の人道的奉仕をテーマにして何が悪いんです
か？一番いいんじゃないですか。」と申し上げま
した。そして、どうやって展開するかという話
になった時に、今国際的には奉仕プロジェクト
を奉仕各5大委員会と協力し合って遂行してい

くという動きがございます。そこで奉仕プロジェクト委員会を設立したわけでございます。その中で誤解があったので、公式訪問の中でその誤解を解いて回りたいとおっしゃっておいりましたので、私がお説明申し上げます。

奉仕プロジェクト委員会が社会奉仕・国際奉仕・職業奉仕の3つを合体して一つとして認知症をやればいんだと誤解されている方がおられます。これは違います。職業奉仕は職業奉仕。社会奉仕は社会奉仕。国際奉仕は国際奉仕。奉仕活動のステージが違います。しかしながら、その各ステージで共通する話題が認知症であるならば、それを考える場所として奉仕プロジェクト委員会というものを準備したわけでございます。ですから3つを一緒にして認知症だけをやればいんだという事ではございませんので、「その誤解だけは解いていきたいんだ」ということを本人は言うておいりました。この公式訪問ではその話をもう少し掘り下げてしたかったという事ではありますが、先だって菊池委員長はじめ奉仕プロジェクト委員会の皆さんが勉強会等をされて、川瀬年度の意思是っかり伝えられ、活動されていると思います。第一分区から第七分区まで、「オレンジリング取ったよ！」と声が聞かれ、このオレンジリングサポーターが何と多かったことか。一番最初に取ったのは第一分区の中条胎内、その次に新潟全クラブ、七分区に移って糸魚川・糸魚川中央。非常に心強いなと思いました。柏崎中央へ行った際には「ロータリアンがやっている事だから安心安全だと言われたんです。」とおっしゃっておられました。安心安全という話の繋がり、柏崎中央 RC は活動の中で、なんと“婚活パーティー”をやっておられます。ちょっとロータリークラブのやることかな？と思うのですが、一番の地域貢献だとおっしゃっていました。この10年間、1年に2組くらいずつ成就しているそうです。それはロータリアンがやっているから、安心安全で茶化してやっているわけではない。ロータリアンは地域のトップリーダーだから、今度オレンジリングを振りかざせば、広がっていくのではないかとおっしゃっていました。

川瀬年度はあと半年ございますが、先ほどバリー・ラシン会長もおっしゃっていましたが持続可能な奉仕活動が近未来のロータリーの活動になっていくかと思われま。我々が持続するという事もあります、その我々がインスピレーションを与えたことによって地域が持続していくという事をこれからのロータリー活動して望むこととございます。その辺を川瀬ガバナーは

この席で申し上げたかったのです。

そして今日、このゴールドの鐘の説明をしなければいけません。会長に無理を言って並べていただきました。お手元のロータリーの友6月号のコピーですが、東京ロータリークラブがまもなく創立100周年を迎えることに関しての記事です。言い換えれば、日本のロータリークラブの創立100周年ということになります。それを東京 RC が全国34地区にこのゴールドの鐘を寄贈してロータリーを祝おうという取り組みです。もちろん、この2560地区にも頂戴しております。今年度と来年度の大谷年度で点鐘していくわけでございますから、今年度の高橋会長、次年度の外山会長にその権利があります。この鐘には第2560地区の全クラブ名の刻印がなされています。三条北ロータリークラブもはっきりと刻印されておりますので、もしよろしければ、後でご確認ください。その東京といえば、あと2年で東京オリンピック開催であります。先だっの地区大会では100%登録のご参加いただきありがとうございます。感謝申し上げます。東京ロータリークラブから水野正人様が記念講演でいらしていただきましたが、ご承知の通りオリンピック招致委員でもあります。先の1964年のオリンピックの聖火台は東京ロータリークラブの寄付により建造されたものだそうです。1972年の札幌オリンピックの聖火台は全国のロータリアンが寄贈したものです。時のアナウンサーが「この炎は全国のロータリアンから寄贈された聖火台の炎であります。」と全世界に発信されたご記憶はあるかと思ひます。先ほど、ロータリーの友のご説明をされましたが、そういうことをされるクラブはなかなか無いんです。ロータリーの友の2016年の10月号に聖火台の話が掲載されています。バックナンバーをご確認ください。ちなみにロータリーの友はロータリアンの義務の一つ“雑誌の購読”にあたります。当クラブの定款には、「お金を払う事」「例会に出ること」「雑誌を読むこと」を謳っています。

そして、最後に地区事務所が設立されている説明ですが、ガバナー月信等々に書きましたが、地区事務所が新潟に設置されております。このことによって、各委員会活動は地区事務所が全部賄うことによって、ガバナー事務所は地区の事務が軽減されるのでガバナー輩出が容易になるという目的でございます。

川瀬ガバナーに成り代わりまして、本日はよろしくお願ひ申し上げます。

クラブ協議会

進行：松山浩仁 幹事

各委員会から現況報告書に基づいて、順番に発表していただきました。

[クラブ奉仕A]	斎藤 正 委員長	[職業奉仕]	羽賀 一真 委員長
職業分類	丸山 勝 委員長	[社会奉仕]	佐藤 秀一 委員長
会員増強A	金子太一郎 委員長	[国際奉仕]	樋口 勤 委員長
会員選考	佐藤 弘志 委員長	[ロータリー財団]	渡辺 徹 委員長
ロータリー情報	外山 晴一 委員長	[米山奨学]	森 宏 委員長
[クラブ奉仕B]	瀧岡 茂 委員長	[青少年奉仕及びライラ]	
出席/クラブ会報雑誌広報資料			石丸 進 委員長
	石川 友意 委員長		
親睦活動	中原 尚彦 委員長		
プログラム	花井 知之 委員長		
スマイルBOX	田口実仁佳 副委員長		

講評：久住 勲夫 ガバナー補佐



北クラブといたしますと、新潟県でも有名な企業が県央地区以外でも名の知れた会社の方が大勢いらっしゃる、とても私が玄関も入れてもらえないくらい大きい会社があります

が、それを踏まえてお話をしたいと思います。奉仕活動全般のお話ですが、やはり原点は自分の会社を一生懸命に経営され、地元の地域経済活性化されるという事がロータリークラブの内部的な奉仕活動であり、自分の会社の商売を一生懸命やることにより地域・新潟県・日本国が活性化すること、それがやはりロータリアンの奉仕活動の原点であります。その他に外部的な奉仕活動として昨年尾木直樹さんと呼んできたり、島田にやまぼうしを植樹したり、五十嵐川のクリーン活動に参加したり、二胡演奏のコンサートをしたり、最近では東京電力の柏崎刈羽原子力発電所に行ってみたり、いろいろな工夫をされて、皆さん一生懸命されていることに敬意を表したいと思います。やはりこれだけの人数いますと知恵が働くわけですからいろいろやってみて、これは成功したがこれはもうちょっとこうしてみようとかいうことが奉仕活動の原点ではないかと思われま。よそのクラブさんはこれほどあちこち行ったりすることはできませんのでせいぜいこれ一つは一生懸命やろうというくらいしかできません。さすが北ロータリーさんだ！という風に感じました。それから、2560地区では公共イメージに力を入れようという、いわゆる宣伝ですが、ロータリーは何をし

ているのか、一般の人にロータリーの活動を理解してもらうために、YouTube やインターネット等低予算でアピールすることができれば良いですし、三条新聞に燕ロータリーの認知症の研修会の記事がありましたが、そういったことも含めて企画立案をしてみて三条市内ロータリー4クラブ・燕市内ロータリー3クラブがまとまってできれば良いのかなと思います。石川委員長の方から出席率が良くないとありましたが、この問題は弱小クラブでは電話を掛けて会員を呼びます。県外に出ている場合や商談中・接客中などいろいろありますが、例会というものはまず出席をすることが一番大事なんです。たわいのない話をする事。ロータリークラブの原点は、ライオンズと違いまして、顔を合わせながらお話をし意見を交わし、より良い方向へ導いていっていただけたらと思います。また、石川委員長の話ですが、出席率が下がっていることもしょうがないこととして、30代40代の方を重点的に入れている。現職ですから、県外出張や仕事の関係で12時半までにはどうしても間に合わない、という事がだんだん増えてきました。従いまして、若ければ若いほど出席率は下がってくる、已むを得ないことですが、そうしたら、夜例会で楽しくやろうなどという風に視点を変えてみる。

30代40代の方は自分を売る、会社を売る年代なんです。地域のため社会のため活性化を図って頑張っているんだなと思っています。ただし5年先10年先のビジョンを持っていただき、これからの北ロータリークラブの漠然としたもので結構ですので、そういったビジョンを持って行ってもらうことが大事だと思います。極端な

例ですが、電話をかけて例会に呼び出すことも手段ですが、やはり例会が楽しければ出席してくる、面白ければ出てくる、そういったことを肝に据えていただければと思います。それから会員増強ですが三条北クラブ 60 人を超す会員数ですが、11 クラブを平均すると 30 人前後圧倒的に多いです。予算面や各委員会の委員の割振りや1年間の行事運営やら30人がギリギリなんです。各委員会が少なくとも4人5人という事は、うらやましいことです。小さいクラブは2人です。2人とも欠席するとクラブ協議会にならないんです。では7人5人くらいの小クラブはどうかというと、3年に1回は会長や幹事が回ってくる、委員会は半分に分けてやるという具合が現状です。しかし、会員はやる気満々で目の色が違います。各々が信念をもってやっているので田上さんと加茂さんは合同例会もやっています。巻さんと田上さんも合同例会をして、小クラブの固有の悩みを相談し合っています。会員増強ですが、60人を超える会員数は何度も言いますが羨ましいことです。これからの10年先15年先20年先のビジョンを持って40周年50周年その時どういう状態になっているのかを考えていただければと思います。財団の話ですが、昨年地区1位というレベルの高いところで活動しておられる。このことはほかのクラブが真似しなければいけないところです。

会員の選考員会、よそのクラブでは増強委員会とタイアップしています。これを単独でおき、新入会員候補をきちんと審査をして、最終的には理事会で決めるのですが、やはり品位と品格は大事です。会員になるのは誰でもいいというわけではありませんし、利益誘導型もダメです。ロータリーには必要な人にこそ入ってもらいたいと考えてもらえれば5年先10年先は安泰だと考えてもらって大丈夫だと思います。特に感じたのは、青少年のローターアクト・インターアクトの方の将来ロータリーへ戻る可能性のある方をリストアップしておくという事もあります。分水では奨学生が世話になったので、是非ロータリークラブに入れて欲しいと来ました。そういう事もあるので、ただ、留学にお金を出すことだけじゃなく、最終的には大きくなったら入れてくださいという、そういう方もいるので、何らかの種をいっぱい蒔いておいて、それから興味がありそうだなと思われる方を入れていってもらった方が良いのかと思います。他クラブと比べて皆さまは非常に連帯感があるし企画立案能力もあるし、高橋会長以下皆さんそれぞれ一国一城の主でありますから、いろい

ろの考え方をお持ちだと思いますが、それぞれ意見を戦わせ、結果的にまとまって大きい仕事を成し遂げていければ良いのではないのでしょうか。つたない説明で生意気なことを申し上げましたが、このように考えていますので、よろしく願いいたします。

総 評：関川 博 地区幹事



今迄回ってしましてようやく第4分区のホスト地区にたどり着きました。久住補佐もおっしゃいましたが、出席率と会員増強は連動しているこのクラブの魅力はどこにあるのか、もう一つは何でロータリークラブに入っているのかという事です。素朴な質問です。あるクラブで何で皆さんロータリークラブに入っているのか？と素朴に聞いてみましたが、一人も言われませんでした。遠慮されて言われなかったのかもしれませんが、理由はそれぞれ一人ずつ違うかもしれない、この中でロータリークラブに入っている意味が親分子分関係だったり、あるいは取引関係だったりする方もいるかもしれない、でもロータリーの原点はそこではないはずですよ。奉仕の心、例会に来て親睦を重ねて奉仕の心を育む。どうやって快く学びの場を作るのかアイデアありますか？会員増強や出席率に悩んでいらっしゃるという事ですが、担当委員会でもなく、何かありませんか？例会の卓話とかで議論したことはありますか？出たくなるには動機があるわけですよ。ロータリークラブの例会は義務なので動機はいらいんです。行かなきゃいけない。行かなきゃいけないと思ったら動機はいらいんです。家族と友達の間関係だと思えるんですよ。新年会とかでロータリークラブのメンバーに会うとホッとしませんか？多分年齢に関係なくそうなんじゃないでしょうか？これがロータリークラブの良さなんじゃないでしょうか？これは毎週会っているからそう思うのではないのでしょうか？やはりロータリアン同士って何とも言えない繋がりがあって、これをどうやって入会間もない人に教えていくか、というところだと思います。出席率を上げるために実践されている新発田城南ロータリークラブの話ですが、職業奉仕委員会とタイアップして若手会員に5分間自分の会社の自慢話をしてもらおう。ここにいらっしゃる皆さんも生業はいろいろあると思いますが、私はほとんど知らないですし、どこの会社の社長さん会長さんかは知ってますが、どんなことを

されているのかはほとんど知りません。そこでご自分の会社の自慢話をしてもらおう。商売はしてはいけないけれど何をピーアールしても良いという事で、この間も若手の会員さんが面白くたっぷり話されました。若手がしゃべるなら、興味を持って聞こうかという方もいらっしゃる。そして、会員増強の話もされていましたが、70歳以上の方はこのクラブは何人おられるか知っていますか？70歳以上の方は29人いられます。65人のクラブで29人が70歳以上なんです。そうすると、あと10年後どうなっていますか？15年後はどうですか？新発田中央ロータリークラブだったと思いますが、「10年後の私達」というプレートが置いてあります。今から準備しないと10年後の自分たちのクラブはないと、会社でもそうでしょ。10年後のビジョンを語れない会社は潰れちゃいます。10年後ってあつという間です。今日準備し始めないと10年後完成していない。これは会社でもロータリーでも同じ。特にロータリークラブはいい時代にできたクラブがいっぱいあるので年齢層が同じなんです。そうすると今から準備し始めないと大変ですよ。すでに若手とは呼ばれないのかもしれませんが、50代に差掛かる年代をこき使って、一番体が動いて、自由が利いて、やれる年代だと思います。先輩の言葉もよくわかっているし後輩の気持ちにもなれる年代だと思います。ここを使っていたら、会員増員は好きではないのですが、10年後の将来設計は必要です。それが何が適切なのかわかりません。それはクラブによって違うと思いますので、卓話の話で楽しい話を聴くのも良いですが、それは是非議論によって、クラブ協議会を行って、半期に一回くらいはそのような機会を設けられて、自分たちのクラブの良いところを語り合う、そして10年後どうなっていたかという事を話し合っていたらいい。商工会議所の会員の方もいらっしゃると思いますが、会員年鑑というものがあって、そこに私は、ライオンズクラブ・ロータリークラブのメンバーをマーカーしました。非常に少ないです。ほとんど手つかずの方々ばかりです。ロータリアン・ライオンズマンはそんなにいるわけではないです。手つかずの出会っていない人がたくさんいるのです。その人とどうやって出会うかを、これから議論すればいい。JCとか何とか上がりとかよく言われますが、その上下関係はあまり好きじゃないですね。それよりもライオンズもロータリーもまだ知らないという方々の何と多い事か。その方々に私たちはこういう奉仕活動をやっていますという事を言って、真の意味でロータリーの精神を学びに来ていただ

く。お楽しみ会でもなく、お昼を食べる場でもありません。学びの場です。それがロータリークラブであるはずなので、是非学ぶ喜び、お酒飲む喜びは別のところでやりましょう。学んで自分が成長して誰かに影響を与えていく喜びを是非感じていただくと、ロータリークラブはこれからも発展していくのではないかなと思います。

最後に一つ、ロータリアンで良かったと思っていることは、出会いです。私が出張先でメイクアップします。自クラブの出席率も大事ですが、出張先でどこでもメイクアップできますから、私がお阪に行くときよく行くクラブは大阪北ロータリークラブです。きっかけは、バスセンターでバスを待っていたら、向こうから歩いてくる人に声を掛けられ、君はロータリークラブにその格好で行っているのかと。それは珍しいな。おいでと言われ、引きずられるように行ったのが大阪北ロータリークラブでした。大鵬薬品の社長でした。それから仲良くなって、大阪に行くといつも行くようになりました。また新潟から来たのか、よく来たかと迎えてくれます。今では大阪に行くときは、それが楽しみになっています。そうやってメイクアップするって大事です。水野さんとの出会いも東京ロータリークラブにメイクアップ行ったからです。ロータリーバッジをつけてある工業会に行ったら会長に呼び止められて、お前ロータリアンだったのと言われ、うちのクラブにメイクアップに来いよと言われ、行ったのが東京ロータリークラブでした。その会長でした。友達を紹介してもらったのが、川淵チェアマンと水野さんでした。そうやってロータリーのバッジをつけているだけで、いろんな方と出会えるのです。こんな素晴らしい是非体験していただきたい。十日町ロータリークラブでこの話をしましたら、旅行社の方が居られて、じゃあ、東京ロータリークラブへ行って米山梅吉記念館寄って帰ろうというツアーを作られていました。実際東京ロータリークラブは、メイクアップは毎回平均30名ほどおられて、全国からそういう形で、東京ロー



タリークラブメイクアップツアーが企画されています。バッジをつけているとどこでも行け、世界各国どこにでも行ける。そんな素晴らしさを、是非若い人に伝えていただくと良いのかと思います。ありがとうございました。

高橋研一 会長

関川地区幹事、久住ガバナー補佐より講評いただき大変ありがとうございました。

100周年

全国で鳴り響け！ 東京RC創立&日本のロータリー 100周年を祝う鐘

日本のロータリー 100周年実行委員会
記念事業等委員会



1920年に日本で初めて創立した東京ロータリークラブ（RC）が、2020年10月20日で創立100周年を迎えます。これは同時に、日本のロータリーが100周年を迎えることでもあります。この100周年という大きな節目に向け、日本のロータリー100周年実行委員会ではさまざまな取り組みを計画しております。

その一つとして、ロータリーの会合で使われる日本のロータリー100周年記念ゴング（鐘）を東京RCと共に製作し、国内全34地区にお贈りするにしました。

この鐘は2018-19年度、2019-20年度ガバナーがガバナー公式訪問の際に持参し、各クラブの会長に例会で点鐘していただくことで、また、各種ロータリーのイベントで使っていただくことで、国内全地区、さらには全てのロータリアンの間で、日本のロータリークラブの始祖ともいえる東京RCの創立100周年、そして日本のロータリー100周年を祝う機運を盛り上げていこうというものです。

皆で高らかに鐘を鳴らして、100周年をお祝いしましょう！

2018年6月末までに2018-19年度ガバナー事務所にお送りします。

ピンバッジデザイン募集 締め切り近づく

日本のロータリーが100周年を迎えるに当たり、全国のロータリアンの皆さまから、記念ピンバッジのデザインを募集しています。締め切りは6月30日。皆さまからのご応募をお待ちしております。応募の詳細は『友』3月号横組みP39をご覧ください。



デザイン例

全国のロータリアンの皆さまへ

東京RCは、米山梅吉と福島喜三次の出会いに始まります。1918年1月、米山は、日本政府の財政調査団に加わって渡米。ダラスRC会員の福島に会い、初めてロータリー運動に接し、大いに心を動かされました。帰国後、米山は2年余り、ロータリー精神と組織の研究に努めました。

当時の日本は経済も不安定で、ロータリー精神が容易に受け入れられるような状況ではありませんでしたが、米山の熱意が少しも衰えることはありませんでした。1920年1月には福島も帰国、創立に向け具体的な準備作業が進められました。

創立総会は10月20日、会員24人で開催されました。総会では初代会長に米山、幹事に福島を選び、国際ロータリー（RI）に加盟を申請、翌年4月に承認されました。

2020年に東京RCは「祝！ 100周年原点に立つと未来がみえる、Participate」を合言葉に創立100周年を祝賀するとともに、クラブの未来を見つめる機会にしたいと考えています。

2005年にシカゴRCの創立100周年をロータリーの創立100周年として祝ったと同様に、2020年には日本のロータリー100周年実行委員会のスローガン「日本ロータリー100周年、超我の奉仕に魂を！」のもと、日本中のロータリークラブで祝い、共に発展を目指したいと思います。

東京RC100周年準備委員会委員長

吉澤 審一



村松RC	五泉RC	小千谷RC
新発田城南RC	柏崎東RC	三条南RC
栃尾RC	佐渡RC	分水RC
新潟北RC	新津中央RC	糸魚川中央RC
吉田RC	三条北RC	巻RC
田上あじさいRC	中条胎内RC	越後春日山RC
村上岩船RC	柏崎中央RC	三条東RC